

震災による被害状況(2011/03/31調べ)					復旧状況と見通し(2011/05/20時点)		
県	組織	建物	職員	調査船	建物復旧状況	調査実施状況	調査船運航見込み
青森県	産業技術センター 水産総合研究所	被害なし、一時的に停電。 3/14から通常業務	全員無事	開運丸(208トン): 無事 青鵬丸(65トン): 無事	開運丸の陸電設備が津波を受け破損。応急措置により電力供給は可能。現在予算要求中。	開運丸は4月のイカナゴ調査、日本海観測(4月分)、津軽海峡流量調査を終え、5月の日本海スルメイカ調査を実施。	開運丸は計画通り5月末に東通原発温排水影響調査、6月にいか類漁場一斉調査を行う予定。青鵬丸も計画通り6月上旬に底魚のトロール調査を実施予定。また、遠洋水研による開運丸の用船調査が6月下旬から7月末にかけて東経144度ライン(北緯33～42度)で
	食品総合研究所 (八戸市)	2階の所長室や図書室は無事だが、1階が壊滅的な被害を受け、研究室や実験室、加工場が使用不能	全員無事		管理棟1階の事務室及び実験室の復旧に着手		
	下北ブランド研究所(大畑町)	無傷			被害なし		
岩手県	水産技術センター	津波により飼育設備、加工設備、研究事務室1階部分に大きな被害、研究設備、各種データ等が一瞬で失われた。	全員無事	岩手丸(154トン): 無事 北上丸(59トン): 無事	業務再開に向けての施設復旧の予算要求中	4/13～北上丸 魚探を用いた漁場(養殖・定置)調査を実施。 5/17～20 岩手丸による200マイル海洋観測を実施。	・北上丸は4月から養殖、定置網漁場の瓦礫等の堆積物調査等を実施。 岩手丸は5月から定線観測を実施。 ・パソコン水没により過去からの海洋観測データが消失したが、水研、各県水試等の協力により殆どを回収。

県	組織	建物	職員	調査船	建物復旧状況	調査実施状況	調査船運航見込み
宮城県	水産技術総合センター 本所	1階部分に津波が押し寄せ、器具機器類を押し流す。2階は10cm程度の浸水で済み、パソコン類は無事に回収。	研究職員全員無事。船舶職員は死亡1名、負傷1名、行方不明2名。	蒼洋、拓洋丸、新宮城丸、取締船うみわし、うみたか：使用不能 船内外機船MFRD(3トン)：無事	現在は石巻専修大学に仮事務所を開設中。9月末日までに本所2階部分を復旧する予定。	4月24日に北光丸にて沿岸定線(巨理38°線)を実施。	県調査指導船の全て(新宮城丸、拓洋丸、蒼洋)を喪失した状態であり、海洋調査の見通しは立っていない。
	水産技術総合センター 気仙沼水試	壊滅状態	全員無事		気仙沼保健所に仮事務所を開設中。復旧の目処は立っていない。		
	水産技術総合センター 養殖生産部種苗生産施設(谷川)	本館や電気室などの鉄筋コンクリート造りの建物は残ったが、生産棟や屋外水槽は生物ごと全て滅失。新貝類		船外機船も滅失	石巻専修大学に仮事務所を開設中。復旧の目処は立っていない。		
	水産技術総合センター 内水面水産試験場	大きな被害はない模様。	全員無事		大きな被害は無し。		
	水産加工開発部 (石巻市魚町)	壊滅状態			石巻専修大学に仮事務所を開設中。復旧の目処は立っていない。		

県	組織	建物	職員	調査船	建物復旧状況	調査実施状況	調査船運航見込み
福島県	水産試験場(小名浜)	建物はほとんど被害無し。飼育関連施設は復旧困難。	全員無事	いわき丸(159トン):沈没 拓水(30トン):船底を損傷した模様 取締船あづま(50トン):無事 船外機船みさき:使用不能	損傷した飼育関連施設の復旧目処はたっていない。	調査船「拓水」は大きな損傷はなく、いわき海域と相馬海域でトロール調査を定期的に行っている。採取した魚類の一部は放射線量測定のための検体としている。小名浜港での定地水温観測を開始。	調査船「拓水」は当面、トロール、かご等による漁獲調査を実施する。海洋観測については8月から再開することで調整している。なお、沈没した調査船「いわき丸」は5月12日に引き揚げが完了し、今後は解体作業に入る。
	相馬支場	全壊	全員無事	船外機船「かろうね」使用不能	改修に係る費用は概ね算定されたが、復旧の目処はたっていない。	松川浦湾口部での定地水温観測を開始。	松川浦内での生物・環境等調査の再開時期は未定。
	水産種苗研究所	全壊	6名の方が行方不明				

県	組織	建物	職員	調査船	建物復旧状況	調査実施状況	調査船運航見込み
茨城県	水産試験場	若干の損傷や漁業無線局の受信用ケーブルの断線等	全員無事	いばらき丸(179トン):ほぼ運航可能 ときわ(59トン):船底が破損、運航開始時期未定 あさなぎ(4.9トン):無事 (那珂湊漁港入り口部に沈船があり、入出港が危険な状況)	無線局の受信用ケーブルは4月18日に修復済み。	・放射能安全確認調査を随時実施。 ・海洋観測は4月は欠側。5月9日～11日にいばらき丸にて再開。	・当面いばらき丸を用いて海洋観測調査を実施。ときわは7月以降に復帰予定。 ・いばらき丸、あさなぎで放射能安全確認サンプリング調査を随時実施。
	内水試	施設の被害甚大で、研究能力ほぼ喪失	全員無事		応急処置を行い、一部の施設は使える状況となったが、全快には程遠い状況。現在予算要求作	・放射能安全確認調査を随時実施。 ・一部の業務が再開している。	
	茨城県栽培漁業協会	H23年度の生産業務はかなり厳しい模様。			復旧には2年程度かかる見込み。現在予算要求作業中。	種苗育成施設が復旧の目処がたないため、種苗育成施設を一部水産試験場に移して実施。	

県	組織	建物	職員	調査船	建物復旧状況	調査実施状況	調査船運航見込み
千葉県	水産総合研究センター本所(南房総市)/東京湾漁業研究所(富津市)/ 種苗生産研究所(勝浦市)	被害なし	全員無事	千葉丸(179トン)、ふさみ丸(62トン)とも無事		計画通り実施	計画通り実施(8～11月サンマ漁場調査含)
	内水面研究所(佐倉市)	研究機器破損	全員無事				
	種苗生産研究所(富津市)	温水パイプ亀裂により水漏れ, 水槽屋根一部破損	全員無事		復旧済み		
東北水研	本所(塩釜)	建物にはほとんど被害なし。石巻倉庫に保管中の係留系関連物品が流出。	全員無事	若鷹丸(692トン):概観無事、船底など調査必要。(塩釜港は大型船航行禁止)陸電施設の損	石巻倉庫に保管してあった係留系関連物品の一部を回収。	北光丸を用いて青森県から茨城県沿岸域の資源・環境震災緊急調査。松島湾における藻場実態調査。	5/23からドック入りし若鷹丸の被害状況を調査。調査結果次第だが6月から調査再開を予定。
	八戸支所	被害なし	全員無事				
	宮古	壊滅	全員無事		仮事務所を設置		